

# 令和5年度 森林環境譲与税の用途に関する事項の公表

京 都 府

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条第3項の規定により、令和5年度の森林環境譲与税の用途に関する事項を公表します。

令和6年11月8日

## 1 活用状況（全体像）＜令和元年度から令和5年度まで＞

区 分	令和元年度～令和4年度	令和5年度	計	令和5年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額 (円)	305,672,929	91,068,335	396,741,264	78%	これまで実施してきた森林経営管理制度に取り組む市町村への支援及び府施策として進めている担い手育成事業や府内産木材の利用促進事業に引き続き活用するとともに、航空レーザ計測データの解析や森林クラウドシステムの導入による森林資源情報の精度向上及び森林情報の一元管理に向けた取組に活用する。
譲与額 (円)	398,332,000	111,524,000	509,856,000		

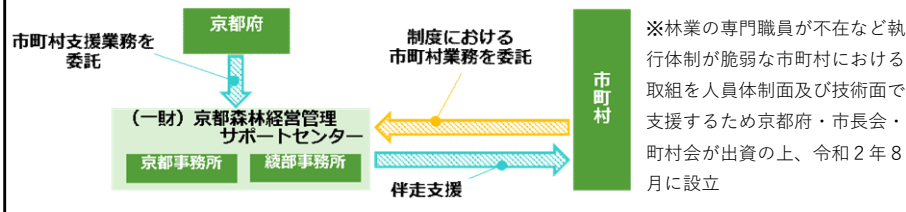
## 2 令和5年度の具体的な活用状況 ※詳細は別紙のとおり

区 分	使途・目的	事業費（円）		主な事業の成果・効果
		総額	うち 森林環境譲与税	
森林整備	森林経営管理制度に取り組む市町村への支援 市町村支援	74,185,198	73,075,198	森林経営管理制度の取組に係る市町村への企画提案や市町村職員を対象とした研修の実施等により、令和5年度は11市町村計1,225haで意向調査が実施され、11市町村計219haで経営管理権集積計画が策定された。
森林整備の 促進	森林整備の担い手の確保・育成 担い手の確保・育成	4,005,637	4,005,637	林業事業者の意見集約や情報共有を図る団体への活動支援により、府施策の活用促進等による経営強化を図った。また、林業事業者が行う主伐への支援により、3事業者が3.52haを整備し、木材生産力の強化を図ることが出来た。
	木材利用の促進 木材利用	13,987,500	13,987,500	府民会議や木工教室等のイベントの開催により、府内産木材の利用促進に向けた気運醸成や情報発信を行うことが出来た。また、技術講習会の開催により、木造建築の設計・施工に係る人材を育成した。
小計（令和5年度活用額計）		92,178,335	91,068,335	
<次年度(令和6年度)への繰越額>			32,700,000	森林資源解析及び森林整備の担い手の確保・育成に係る事業費として一部を令和6年度へ繰越
<前年度(令和4年度)からの繰越額>			1,252,819	森林整備の担い手の確保・育成に係る事業費の一部については、令和4年度からの繰越事業費を活用

## 3 今後の実施計画

### ① 森林経営管理制度に取り組む市町村への支援

（一財）京都森林経営管理サポートセンター※を通じて、引き続き市町村の森林経営管理制度に係る取組を支援していく。



### ② 森林資源情報の精度向上及び森林情報の一元管理の推進

航空レーザ計測データの解析により森林資源情報の精度向上を図るとともに、府内市町村や林業事業者と円滑な情報共有を行うための森林クラウドシステムの構築により、森林整備の加速化を図る。

【実施計画】

	令和6年度	令和7年度
森林解析	林相解析 地形解析①（微地形図、傾斜区図）	地形解析②（路網図）
クラウド	基礎構築 （システム要件検討・データ移行整備）	システム導入 （データの移行・導入支援・操作研修）

【別紙】

令和5年度事業の詳細

市町村支援

市町村が取り組む森林経営管理制度の推進支援

担い手の確保・育成

森林整備の担い手の確保・育成

木材利用

木材利用の促進

事業名	事業総額（円）		事業内容	実績
	うち森林環境譲与税（円）	うち他の財源（円）		
森林経営管理企画支援事業 市町村支援	31,181,398	31,181,398	○市町村の取組進度に応じて、森林整備の企画・立案（コーディネート）を行うとともに、技術的支援を行う相談窓口を設置 ○森林経営管理制度に関する市町村支援を促進助長するため、一般財団法人京都森林経営管理サポートセンターの体制整備に要する経費を補助 ○森林環境譲与税や市町村が行う森林経営管理制度の取組を広く周知することを目的として行う普及啓発業務に要する経費を補助	○森林経営管理制度に取り組む府内20市町村に対し、下記のとおり支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村からの相談対応：77件</li> <li>・市町村への企画提案：103件</li> </ul> ○R6.3.2（土）,3（日）に森林・林業・木材の魅力伝えるイベント「森林の魅力を体感in京都府立植物園」を開催し、2日間で約8,000人を動員
森林情報高度利活用推進事業 市町村支援	1,067,000	1,067,000	市町村による集積計画作成等を支援する業務推進ツールの円滑な運用に向けて、システムの保守管理や相談対応を実施	○R3年度に開発したソフトウェアの保守管理を実施
森林経営管理市町村職員応援事業① 市町村支援	19,947,400	19,947,400	市町村による森林所有者への意向調査等の取組を促進するため、「森林集積推進員」を設置し、府内各森林組合と連携して支援	○10市町村19地区を集約化候補地区として提案 ○18森林組合に対し、森林経営管理制度に係る指導を実施
森林経営管理市町村職員応援事業② 市町村支援	3,685,000	3,685,000	市町村職員に対して、森林計画・経営手法等をはじめとした専門的な知識・技術に関する研修及び集積計画作成から森林整備までの一貫した実地研修を実施	○計10回の研修を開催し、13市町村から延べ83名が受講
森林経営管理市町村職員応援事業③ 市町村支援	1,683,000	1,683,000	市町村が森林所有者に森林経営管理制度の説明を行う際に活用可能な説明動画を作成して市町村へ提供	○森林経営管理制度の概要説明動画を作成し、府HPに掲載するとともに府内市町村へDVDを配布 <掲載ページ： <a href="https://youtu.be/vqMfkWq5Q-0">https://youtu.be/vqMfkWq5Q-0</a> >
スマート林業推進事業 市町村支援	16,621,400	15,511,400	1,110,000 先進技術を活用したスマート林業を推進するため、林業大学生や府内林業事業者向けの研修等を実施	○高性能林業機械シミュレーター研修を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・操作実習4回 73名</li> <li>・操作練習13回 45名</li> </ul> ○ドローン研修を開催し、17名が受講 ○高性能林業機械等先進技術を活用した実習を延べ24日開催し、303名が受講

【別紙】

令和5年度事業の詳細

市町村支援

市町村が取り組む森林経営管理制度の推進支援

担い手の確保・育成

森林整備の担い手の確保・育成

木材利用

木材利用の促進

事業名	事業総額（円）		事業内容	実績
	うち森林環境譲与税（円）	うち他の財源（円）		
京の木流通モデル構築支援事業 木材利用	2,392,000	2,392,000	川上から川下までの連携による府内産木材の需給体制の構築に向けたモデル的な取組（木材需給情報共有システムの導入）を支援	○京都府産木材の需給体制（サプライチェーン）の構築に向けた取組を行う3グループに対し、ICT機器の購入等を支援
森林・林業担い手づくり対策事業① 担い手の確保・育成	1,472,182	1,472,182	森林資源の循環利用を担う林業事業者の木材生産力の向上を図るため、主伐・集積を支援	○3事業者の主伐・集積を支援 （面積：3.52ha、搬出材積：1,521m <sup>3</sup> ）
森林・林業担い手づくり対策事業② 担い手の確保・育成	1,500,000	1,500,000	林業事業者（一人親方含む）の経営強化を進めるため、意見集約や情報共有を図る団体の活動を支援	○総会やブロック別座談会の開催等、京都府木材生産業者等連絡協議会の取組を支援
「京の木」循環利用総合対策事業 森林・林業担い手づくり対策事業③ 担い手の確保・育成	1,033,455	1,033,455	府立林業大学校生の府内就業促進に向けて林業事業者とのマッチング会の開催や林業大学校生の確保に向けたPR活動の実施、林業大学生への指定物品の購入を支援	○学校訪問 50校 50人 ○PRイベント等 24回 48人 ○マッチング会開催 24企業参加 ○林業大学校PR冊子の作成 4種5,300部 ○林業大学校指定物品購入支援 3名
府内産木材利用促進事業 木材利用	11,595,500	11,595,500	○府内産木材の利用促進に向けた気運醸成を図る「未来につなぐ京の木府民会議」（R4年度設立）の運営 ○建築物の木造・木質化に係る建築技術に関する講習会を開催 ○CLT等新技術の普及に向けて、相談窓口の設置や新技術を導入した建築物等の完成見学会を支援	○府民会議全体会を開催 （来場者数：約90名） ○府民会議関連イベント（木工教室等）の開催（計3回、約500名参加） ○建築技術講習会を開催し、5日間で延べ229名が受講 ○CLT等新技術の支援として、工務店等へ8件の支援を実施

# 森林経営管理制度の説明動画の作成

## (森林経営管理市町村職員応援事業)

使途の区分：市町村支援

- ▶ 府内20市町村が森林経営管理制度（以下、「制度」という）の取組を進める中、森林所有者の方々の制度に関する認知度は依然として低く、意向調査実施時等に市町村職員が実施する森林所有者の方々への制度の説明には、多くの時間を要している状況です。
- ▶ このため、市町村職員が森林所有者に制度の説明を行う際に活用可能な説明動画を作成し、市町村へ提供しました。

### □ 事業内容

#### 森林経営管理制度説明円滑化事業

- 意向調査前の地元説明会等、市町村職員が森林所有者の方々に制度の説明を行う際に活用可能な説明動画を作成しました。

【事業費】1,683千円（全額森林環境譲与税）

【実績】森林所有者向け制度説明動画

<参考 動画の構成（全17分15秒）>

- I オープニング
- II 森林整備の必要性 ①森林の機能
- III 森林整備の必要性 ②伐採の効果・施業の必要性
- IV 森林経営管理制度
- V よくある質問Q&A
- VI 森林所有者の声
- VII エンディング



(動画チャプター)

### □ 工夫・留意した点

- シナリオの作成にあたっては、市町村が説明会で使用している資料の提供依頼及び事前のアンケートやシナリオに関する意見照会を市町村に対して行い、府内市町村の取組における一般的な説明内容を網羅しつつ、汎用性が高い動画となるよう留意しました。
- 制度に関する森林所有者へのインタビューを動画内容に含め、動画の説得力が増すよう工夫を行いました。

### □ 取組の効果

- 市町村へ説明動画を収録したDVDを配布しており、今後実施する地元説明会等での活用が期待できます。
- 府HPにも掲載しており、説明会に欠席する森林所有者等へURLを案内することで、個別説明に係る市町村の負担の軽減が期待できます。



(動画の一場面)

### □ 取組の背景

- 府内20市町村が制度に基づいた取組を進めており、今後さらに取組が加速していくことが想定される中、森林所有者の方々の制度に関する認知度は低く、市町村職員による森林所有者の方々への制度の説明には多くの時間を要している状況です。
- このため、市町村の取組を支援することを目的に、市町村職員が森林所有者に制度の説明を行う際に活用可能な説明動画を作成しました。

#### ◆ 動画掲載ページ

- 京都府 HP  
<https://www.pref.kyoto.jp/shinrinhozen/shinrinkanri.html>
- 京都府公式YouTubeチャンネル  
<https://www.youtube.com/watch?v=vqMfkWq5Q-0>



(府YouTubeチャンネル)